

発行/柏市 〒277-8505 千葉県柏市柏5丁目10番1号 ☎(0471)67-1111

声を聞かせてください

総合計画策定に向けて

現在、市では平成13年度から始まる次期総合計画策定(柏市第四次総合計画)に向けて作業を進めています。この計画は、皆さんと市が一体となって、うるおいのある豊かな生活が実現できるよう柏市の将来像を築き上げていくもので、多くの市民のかたの意見や提言等をいただきながら策定作業を行っています。また昨年度、さまざまな分野で活躍されているかたから総合計画の策定の方向性についてご意見をいただきましたので、その概要を報告します。日ごろ皆さんが考えているまちづくりのあり方や柏市の将来への意見や提言、また今回の報告内容等について「声」をお聞かせください。

★総合計画とは
まちづくりの目標やこれを
実現する施策を総合的かつ体
系的に示したもので、次の3
つにより構成されています。
①基本構想―柏市が目指す
まちづくりの基本方針を示し、
将来の目標と取り組み姿勢を
明らかにするもの
②基本計画―基本構想の考
え方を実現化していくために
必要な施策や事業等を体系的
に示すもの
③実施計画―基本計画に示
された施策、事業を年次別に
具体的に示すもので、予算編
成の指針となるものです。現
在の総合計画は平成3年度か
ら12年度までの10年間の計画
で、「ひと・まち・みどり」が光
るふれあいの都市「柏」を将
来都市像としています。



うるおいのある豊かな生活の実現を

★21世紀の柏の姿を策定
現在の総合計画は、平成12

年度で期間が満了します。そ
こで、今までの成果や社会情
勢の変化、市民ニーズ等を取
り込んだ13年度から始まる第
四次総合計画の策定作業を進
めています。
★計画策定には皆さんの「声」
が必要
より良い計画を策定してい
くためには皆さんと市が共通
の目標を持ってお互いに理解
と協力を得ながら進めていか
なければなりません。また、
社会情勢の変化や市民ニーズ
等を的確にとらえ計画に反映
させるため、皆さんからの意
見や提言が必要です。

多くの意見が

4回の有識者会議で

昨年10月から、いろいろな
分野で活躍されているかた15
人、構成される有識者会議
を4回開催し、多くの意見等
をいただきました。
この意見等を受け、市とし
ての総合計画の策定方向を考
えました。
★有識者会議の議題と意見
有識者会議では、総合計画
を4回開催し、多くの意見等
をいただきました。
この意見等を受け、市とし
ての総合計画の策定方向を考
えました。

裏面へつづく

柏市柏五丁目一〇一

柏市役所
企画部 企画課 行

料金受取人払
柏局承認
161
差出有効期間
平成11年9月
30日まで
(切手を貼らずに
お出しください)

総合計画に関する意見

氏名	住所
	〒□□□□□□
電話番号	

の策定に重要と考えられる次の4つの議題を設定し、意見を伺いました。

1 現状認識(21世紀型の総合計画の考え方)

①柏市の地域特性を計画に盛り込み、それを通して市民一人ひとりの幸福・生活満足度の向上を図る

②市民に分かりやすく身近な、より具体的な計画とする

2 おかれている社会状況への対応について

①「少子・高齢化」「ライフスタイル」「厳しい財政状況」など変化する社会状況へ対応する

②高齢者や体の不自由な人が生活しやすいバリアフリーの都市基盤整備をする

③高齢者福祉施策を充実する

④少子化社会に対応した学校教育を推進する

⑤「みみのリサイクル」などを通して、拡大成長型を求めた消費型社会から循環社会へ転換する

⑥働く女性に対する支援を充実させるなど男女共同参画社会を構築する

⑦明確なビジョンに基づいた戦略的かつ効率的な財政運営を行う

⑧財政状況に関する情報の

提供と説明を行う

⑨サービス提供における適正な公平原則と負担原則を導入する

⑩民間の活用などサービス提供における経営原理を導入する

⑪環状道路整備やコミュニティバスの導入等により市内交通のネットワークを充実させる

3 市民に対するきめ細かい施策への対応

①市民の意識・意向について積極的に情報を収集・把握する

②市民一人ひとりの発言力・提案力を育成する

③ボランティア・NPOと市が連携し、行政と市民の協働体制を構築する

④地域状況を熟知している専門のコンサルタントなどを活用していく

⑤定期的に意見を聞くための仕掛けづくりをしていく

⑥市民と行政がお互いに情報などを公開し、提供するためのシステムづくりをしていく

⑦近隣の市町と連携していく

⑧多様な市民の声を効果的に集約する体制づくりをしていく

4 市民参加への対応

①行政と市民の役割分担を明確にする

②効果的な市民参加のため行政と市民の関係をコーディネートする専門家などを活用する

望むものをきめ細かく 3つの基本視点で

有識者会議で出されたさまざまな意見を受け、市としては総合計画策定の基本的な視点を次のとおりまとめました。

★策定方針の基本的な視点

「くらし」「まち」「ひと」を結ぶまちづくり

20世紀における行政の基本

姿勢は「全体が豊かになれば個人も豊かになる」という考え方が中心でした。しかし、経済の低迷、ライフスタイルの多様化など21世紀を迎え、行政が対応すべき課題はこれまでと異なり、生活の豊かさやゆとりなど、より個別的かつ複雑なものへと変化しています。こうした状況に対応するため行政に対する市民ニーズの発掘と把握、また、それを実現するための具体的な方策の検討を進めることにより、従来の「ハコモノ行政」と呼ばれる画一的な行政から、市民が真に望むものをきめ細かく提供できる行政へ転換を図る必要があります。そこで、市民参加を得ながら個性あふれる市民に分かりやすい計画

のりしろ

のりしろ

のりしろ

ご協力ありがとうございました

ご意見は封筒で

- ①印刷されている封筒を切り取り郵送してください。切手は不要です。
 - ②差し支えなければ住所氏名等を入力してください。
 - ③FAX・Eメールでも受け付けます。
- FAX番号
67-6644
- Eメールアドレス
city-kashiwa@mvf.biglobe.ne.jp
- ※印刷されている封筒以外を利用された場合の郵送料等は自己負担となりますのでご了承ください。

視点1 柏市の顔づくり

市民が柏の持つ特性を実感することができ、柏で暮らすことに誇りを持つようにつくっていく

市民が柏の持つ特性を実感することができ、柏で暮らすことに誇りを持つようにつくっていく

視点2 まちづくりを支える「人材」の育成

自由に移動できる様な交通機能の整備が重要となります。これにより、利便性の向上と柏市に対する愛着が生まれ、まちとしての一体感が高まることを期待できます。

自由に移動できる様な交通機能の整備が重要となります。これにより、利便性の向上と柏市に対する愛着が生まれ、まちとしての一体感が高まることを期待できます。

視点3 よりよい市民参加

市民参加のきつかけとなることにより、市民ニーズや提案を効果的に把握できるため

市民参加のきつかけとなることにより、市民ニーズや提案を効果的に把握できるため

問い合わせ
企画課
☎67-1111
内252・253
FAX67-6644